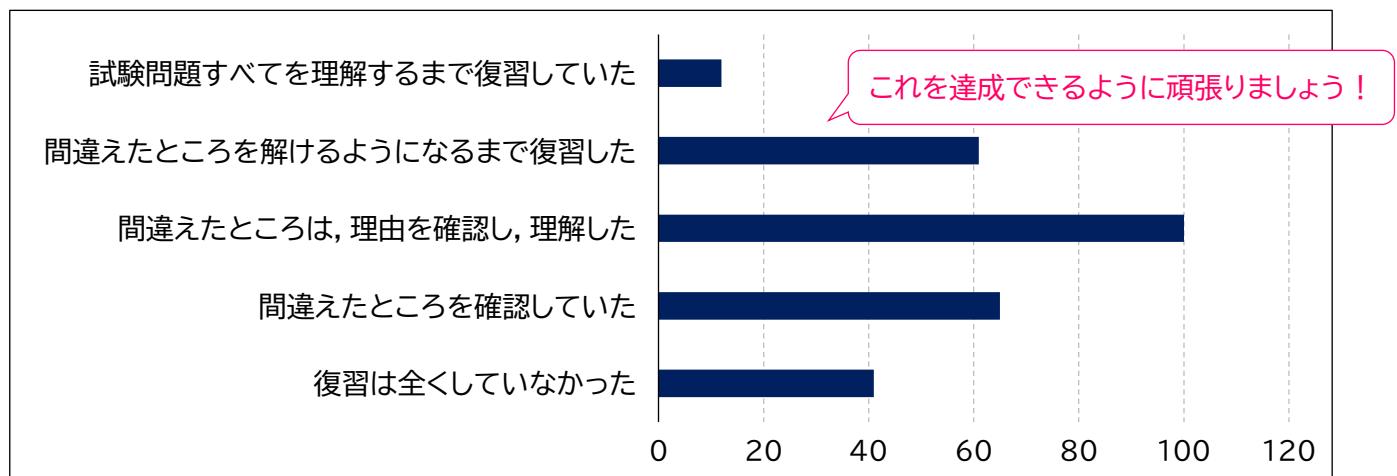


■テストの振り返りをしよう

新学年で初めての定期考査があり、定期考査に向けて、思ったような取り組みができたでしょうか。徐々に定期考査も返却されているでしょう。もちろん、定期考査に向けての取り組みも大切ですが、定期考査が終わった後、どのように復習に取り組むかも大切です。

定期考査が終わると開放感から、勉強は一旦、横に置いておいて……となりがちですが、定期考査の1つ1つの範囲が入試に繋がっていきます。例えば、今回の定期考査で、「英語の過去完了と大過去の違いが分からなかったな……」とか、「数学の解と係数の関係が分からなかったな……」「化学の電気陰性度と電子親和力の違いが分からなかったな……」というような疑問が残っていないでしょうか。これらはすべて入試につながります。つまり、放っておいたとしても、いずれやらなければなりません。「どこができるいないのか」が定期考査で明確な今のうちにやっておくことが大切です。



ある年次の生活実態調査の結果 - 昨年度、定期考査後、どう復習に取り組みましたか

上記の図は、ある年次の生活実態調査ですが、「昨年度、定期考査に向けての取り組み」について質問した回答のうち、「間違えたところを解けるようになるまで復習した」人が全体の約26%でした。理由を確認して、理解した人は62%いますが、定期考査でも「分かっていたはずなのに、間違えた」という経験はありませんか。入試などでそれを防ぐために、理解して解けるようになるまで復習をすることが大切です。この26%の割合がもっと高くなってくれることを期待しています。

■オープンキャンパスの予約をしよう！

1年次生は「産業社会と人間」の授業内で話があると思いますし、2・3年次生にとっては聞きなじみのある話だと思いますが、オープンキャンパスの予約が徐々に始まっています。特に国公立大学は予約制の大学も多いですので、自分が行きたいなあと思っている大学には早めに予約が必要か情報収集をするようにしましょう。早い大学では5月下旬から予約が始まっています！